

て神供を取し事あり、唐山の洞庭湖にもあり、杜詩に「迎饒神鷓舞」と作れり、入蜀記にもみゆ、鳥は諸鳥をなふる鷹さへも多くより來りてなふれども、三光鳥に逢ては甚居すくみてちまれり、尾を畏るといへり、俗に鳥の啼をもて凶兆を占ふことあり、黃山谷が詩に「慈母每占鳥鵲喜」といひ、群談採餘の詩に「鵲噪未爲吉、鴉鳴豈是凶、人間凶與吉、不在鳥音中」とみえたり、鳥の鶉の眞似といふ諺あり、

〔傍廂前篇〕からすの鳴聲

皇朝にて、からすと號けしは、からくと鳴く故なり、外戎にて鳥とも鴉とも號けしも聲なり、

鳥種類

〔本朝食鑑六禽〕鳥鴉

集解今村市所有之鳥皆慈孝鳥也、初生、母哺六十日、長則反哺六十日、可謂慈孝矣、每旦日出之前、噪出林藪、群飛啼度、集于漁市郊野、貪腥羶朽腐之肉、鶯燕雀雞鴨之雛、至黃昏又啼噪宿于叢篁、其寺院之山陵社祠之苑岡尤多、今本邦自古稱熊野之神使、此常人之所未曉也、乎然鳥中有智而囂貪者、惟以有孝爲鳥中之曾參、則幸哉、一種大於慈鳥而嘴肥大者、俗稱鶯太鴉、常棲山中之樹而不出村市、一種大似裂頸青白而赤背、穴居于深山者、稱深山鴉、此皆類同而居殊耳、

〔和漢三才圖會四十三禽〕山鳥。今云深山鳥。略中

按、此鳥深山中希有之、小於鳥而嘴大、頭身黑光色、胸背有白斑、尾黑而長一尺許、俗名深山鳥、一種有川鳥。谷川有之小鳥。出子水禽類

鴉。鴉一名。似鴉而小、黑色背邊有毛、甚勁能逐鴉、鴉見之則避。

鷹。鷹一名。似鷹而小、蒼色能逐鷹、蓋此二物本朝未見、

〔重修本草綱目啓蒙三十三禽〕慈鳥。略中

市中ニ多ク居ルカラスナリ、故ニサトガラスト云フ、古ヨリ反哺ノ孝アリトテ、孝鳥或ハ孝鳥ト